

令和3年度
運営諮問会議報告書



鳥羽商船高等専門学校

令和3年度 運営諮問会議 議事概要

令和4年3月7日（月） 13：30～

場所：1号館3階会議室及びオンライン

運営諮問委員出席者

対面参加委員：今津委員（議長）、烏山委員、増田委員

オンライン参加委員：菅沼委員、眞崎委員、本田委員、木本委員、三宅委員

運営諮問委員欠席者：東委員

本校出席者：和泉校長、伊藤副校長、坂牧学生主事、橋爪寮務主事、江崎研究主事、坂野事務部長、五十棲総務課長、國枝学生課長、水野総務課課長補佐、高橋企画・地域連携係長、高尾企画・地域連携係員

オンライン陪席者：林専攻科長、窪田商船学科長、出江情報機械システム工学科、西川一般教育科長、山下電子機械工学科長、溝口制御情報工学科長

1. 開会挨拶学校概要（和泉校長）

総務課長による運営諮問委員の紹介・挨拶後、和泉校長による開会挨拶及び学校概要の説明が行われた。施設環境整備が喫緊の課題で、以下について取り組んでいる旨、説明があった。

- （1）学校強靱化による災害支援機能を備えた練習船代船
- （2）浮き桟橋・艇庫地区整備
- （3）新国際寮の設置

また、上記（1）～（3）を基軸とし、教育の質の保証、人材育成を行う旨、委員に説明した。

現在本校で取り組んでいる教育の質の保証・人事育成の施策として、全校で PBL を取り入れて、船の技術、海の技術、機械等の制御技術分野で情報化を図り、現場で育つ技術者、産業人の育成を目指している事例紹介があった。

他には、英語力強化のため、グローバル教育拠点の話があり、実施例として、今年度 KCC とオンライン英語交流の事例の説明があった。また、学生会制作鳥羽丸実習と、スマートフォンを用いた給餌の事例の紹介があった。

2. 議長選出

和泉校長の挨拶終了後、議長選出が行われ、今津委員が議長となり、その後の議場進行を行った。

3. 本校の現状と課題（伊藤副校長）

伊藤副校長による本校の現状と課題について、以下の6つの項目について説明が行われた。

- (1) 本校の概要
- (2) 入学から卒業まで
- (3) 3つの支援室
- (4) 教育の質の向上と地域連携など
- (5) 学生支援と生活支援
- (6) 研究活動と学生の活躍

(1) については、教育理念、高専のシステム、本校のセールスポイント、学科概要、授業、会議等のオンライン化について説明があった。

(2) については、巡回 PR、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた学生募集活動（WEB 開催、少人数の個別相談）、オープンキャンパス、他機関開催説明会参加有無状況、本校の入試制度、倍率、評定、成績、原級留置、退学、就職・進学について説明があった。

(3) については、基礎学力定着、原級留置率低下を目的とした学修推進支援室、授業カリキュラムと支援事業（就職支援セミナーなど）によるキャリア支援を行うキャリア教育推進室、国際交流・TOEIC 対策支援を行うグローバル教育推進室について説明があった。

(4) については、J 科のカリキュラム、遠隔授業・分散授業の紹介、次世代海洋人材育成の協議会、自治体、民間企業との包括協定など他機関との連携、地域との連携・貢献について説明があった。

(5) については、学生からの相談を受ける学生相談室、まなびの継続を実施する教務主事室の支援、生活指導、学生会活動支援を実施する学生主事室、寮生、学校との意見交換保護者との情報共有を実施する寮務主事室について説明があった。

(6) については、事前配布資料（学生の活躍（新聞、ホームページ））と内容が重複するため、説明を割愛することとなった。

4. 各委員の質疑・コメント

伊藤副校長の説明後、今津議長より、各委員に対し、質疑・コメントを求めた。委員からの質疑に対しては、伊藤副校長が回答した。

【三宅委員】 本科卒業生のうち、大学3年次編入学及び専攻科に進学する割合を教えてください。

【伊藤副校長】 大学3年次編入学は年度によってまちまち。専攻科は、工業系については本科定員の1割程度入学。商船系は、2～3名入学している。

【鳥山委員】 オンライン授業について、奨学後援会から支援により、学生活動の一助になったと、伊藤副校長の説明で確認できた。
質疑がなかったため、伊藤副校長の回答なし。

【菅沼委員】 他の高専と違うアピールをしてほしい。学生を立派な社会人として育ててほしい。同窓会として、創起150周年を迎えてキックオフしたところで、学校と連携しながら進めていく。
質疑がなかったため、伊藤副校長の回答なし。

【真崎委員】 教育相談体制の充実が良い。オンライン授業の授業内容定着率が伊勢高として課題。どのような対応されているかお聞きしたい。次に、成年年齢が18歳になることによる消費者教育をいかにしているかお聞きしたい。最後に、退学学生の行き先をお聞きしたい。

【伊藤副校長】 オンライン授業では限界があるため、対面授業を主とし、新型コロナウイルス感染症が拡大した際に、オンライン授業も可とした。消費者教育については、学生主事室主催の講演、講習にて対応している。補足にて坂牧学生主事より、規範意識は自分自身でとるよう教育をしていると説明があった。(アルバイトの許可制、原付の免許の制限がないことなど) また消費者教育については、オンライン警察講演会を実施し、学生だけではなく、保護者にも見てもらうようにした。退学者への対応は、3年次での退学が比較的多く、高卒と認められる同じ単位数が必要数あれば、その後の進路につなげられる。しかし、これに該当しない場合、通信制高校に転学するケースもある。

【本田委員】 次年度1名I科から1名新採をとった。今後もDX、ICT、AIに通じる人材育成をお願いしたい。

【伊藤副校長】 そのような人材を育成するよう取り組んでいく。

【木本委員】 本校卒業生が44名働いている。コミュニケーション能力を育てていただきたい。また英語力の強化、資格取得等学生が勉強する動機づけを行ってほしい。

【伊藤副校長】 企業様の求める部分に到達していないため、学校独自の手法、目標設定を高め、入社後の活躍に直結できるように学生を継続して指導する。

【増田委員】 学生募集において、寮の資料を見て、東日本からの学生が少ないように見えた。今の時代、オンラインで魅力発信できるのではないか。また、地域中小企業への就職をお願いしたい。

【伊藤副校長】 県外からの学生は商船学科で、ほぼ身内に海運関係者がいる。首都圏から入学者が減少しているのは課題である。Web説明会などで挽回していきたい。地域との協働については、J科のオーダーメイドカリキュラムにより、地元企業に就職する際、即戦力となりえる。

【今津議長】 本校以外の大学・高専全体と言えることとして、同期同士のサポート関係をどのようにカバーするか（コロナ渦で顔を合わせる機会がなかったため）。また、卒業生は完成して社会に出ていない。ただし、可能性を持っている。向上心をどのように持たせるかが課題となる。

質疑がなかったため、伊藤副校長の回答なし。

5. その他

橋爪寮務主事より、全国より入学生が入寮している、一方で東日本の入学生の少なさは課題として受け止める。また、英語力強化については、単に語学留学だけではなく、疑似インターンシップ、SDGsをテーマにしたプログラムに参加実績があることを説明した。なお、今年度は、オンラインで週2回ハワイの担当者とオンタイムでオンラインプログラムを実施した旨、説明した。

6. 閉会挨拶（和泉校長）

和泉校長より、閉会挨拶として、各委員の質疑・コメントに対する御礼、提言を今後に生かすことを述べ、会議が閉会した。

令和3年度 鳥羽商船高等専門学校運営諮問会議次第

〔 日 時：令和4年3月7日（月） 13：30～15：30
場 所：鳥羽商船高等専門学校 1号館3階会議室、オンライン 〕

- 1 開 会
- 2 委員の紹介
- 3 校長挨拶
- 4 学校概要説明
- 5 配付資料の確認
- 6 議 事
 - (1) 本校の現状と課題について
 - (2) その他
- 7 閉 会

令和3年度運営諮問会議委員名簿

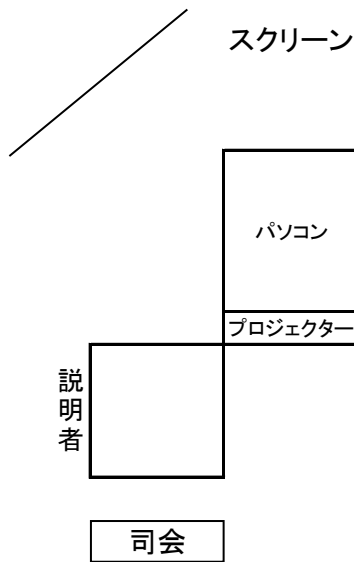
氏 名	現 職	備 考
今 津 隼 馬	国立大学法人東京海洋大学 名誉教授	
鳥 山 光一郎	鳥羽商船高等専門学校奨学後援会 会長	
菅 沼 延 之	鳥羽商船高等専門学校同窓会 会長	
東 和 彦	鳥羽市立鳥羽東中学校 校長	欠席
眞 崎 俊 明	三重県立伊勢高等学校 校長	
本 田 直 基	美和ロック株式会社 伊勢工場群 総務部長	
木 本 啓 輔	シンフォニアテクノロジー株式会社 電子精機本部 伊勢製作所副製作所長	
増 田 峰 知	公益財団法人三重県産業支援センター 事業部技術支援課 課長	
三 宅 秀 人	国立大学法人三重大学 大学院地域イノベーション学 研究科 副研究科長	

※ 委嘱期間 令和3年12月1日～令和5年3月31日

令和3年度 運営諮問会議座席表

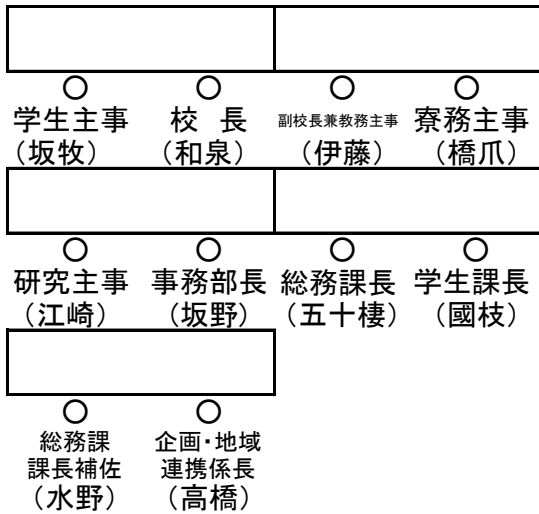
日時: 令和4年3月7日(月)
13:30~15:30

場所: 1号館3階大会議室
オンライン



- 増田 峰知
- 今津 隼馬
- 鳥山 光一郎

菅沼委員、眞崎委員、本田委員、木本委員、三宅委員は
オンライン出席。東委員は欠席。



※ 学科長、専攻科長はオンライン陪席参加(各個人の研究室等)

入口

令和4年3月7日

令和3年度 運営諮問会議資料

- 1 令和3年度 鳥羽商船高等専門学校運営諮問会議次第
- 2 令和3年度 運営諮問会議委員名簿
- 3 令和3年度 運営諮問会議座席表
- 4 令和3年度 年度計画達成状況
- 5 鳥羽商船高専における学校経営・課題対応図、志願者減少要因への対応方策
- 6 令和2年度実施高等専門学校機関別認証評価 評価報告書
- 7 令和2年度選択的評価事項に係る評価 評価報告書
- 8 令和3年度 学校要覧
- 9 学校だより V01.93
- 10 2022 学校案内
- 11 学生の活躍（令和3年度）（新聞記事・ホームページ）
- 12 鳥羽商船高等専門学校運営諮問会議規則